

9月
議会定例会

財政健全化判断比率の改善を報告 「ねんりんピック」軟式野球交流大会を開催

9月議会定例会が、9月13日から22日までの実質7日間にわたり開催され、条例の制定や平成29年度各会計補正予算案などの13議案と報告2件の計15件が提案、可決されたほか、平成28年度藤里町歳入歳出計決算について認定されました。



行政報告

◆稲作の作柄状況ほか農業関係

稲作関係については、8月22日現在における能代山本地区の水稲の生育状況は、1平方メートルあたり穂数は442本と、平年と比較すると2%ほど少なくなっております。1穂あたりの着粒数は77・8粒で平年比104%、1平方メートルあ

たりの着粒数は3万4千粒と平年より多くなっている状況であります。

刈り取り時期は、生育状況の圃場間差も大きく、今後の天候にもよりますが、あきたこまちは、9月23日頃、めんこいな・ゆめおぼこは、9月28日頃からなるものと思われまます。なお、東北農政局発表の8月15日現在における秋田県の作柄概況によりますと、県北地区は「平年並み」と見込まれております。

今年の米の概算払金額は、9月8日に開催された全県JA組合長会議で決定されましたが、JAあきた白神独自の加算金も含めた金額は、検討のうえ、9月14日頃、決定予定とのことであります。なお、米穀関連では、平成30年産米の需給調整についてですが、方針作成者であるJAの、農家からの米買い入れ方針等が決まり次第、9月中には町農業再生協議会で協議することになりますが、その方針決定により、必要によつては、町としての農業振興策の見直しを行うこととし

ております。また、町の新たな独自振興策については、内部で検討を始めておりますが、具体策の案がまとまり次第、議員の皆様と協議したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、今年で8年目を迎えたリンドウは、栽培面積409アール（うち採花面積349アール）で、8月16日までの販売においては、出荷本数は189、460本と昨年同期より16、330本減少しておりますが、販売額は11、405千円で、昨年同期と比較して1、314千円ほど上回っております。これは、7月、8月の需要期に出荷盛期が重なり、高単価で取引されたもので、出荷量の減少は当初導入された株の老弱化により、採花本数が減少していることによるものであります。今後の見通しについては、これまで日照時間が少なかったものの、病害発生も少なく、生育状況は順調であることから、需要期の秋彼岸に向けては、出荷増大が期待されております。

次に、白神ラムの飼育状況についてであります。現在、子羊は120頭で、うち5頭を繁殖育成用として育て、ホゲツト向け15頭、ラム肉出荷用100頭となり、他にホゲツト用として15頭の出荷を

予定しております。繁殖種羊は120頭となります。

次に、ニホンザルによる農作物の被害防止についてであります。4月中旬から出没が確認され、随時追い払いに当たっており、鳥獣被害対策実施隊による、週末の巡回や檻・かかしの設置により、これまで11頭を捕獲しており、昨年同期より1頭増となっております。今後も、巡回による対策を実施して参ります。

ツキノワグマにつきましては、5月下旬から出没が確認され、農作物の被害が発生した箇所や、人的被害が懸念される場所にクマが出没した際、檻の設置や巡回を行い、現在まで6頭を捕獲しております。なお、6月下旬、クマによる人身事故が発生してしまいました。直ちに警戒パトロールを強化したものの、捕獲には至っておりません。また、県内ではクマの頻繁な出没が続いていることから、ツキノワグマ出没警報の発令期間が延長され、10月31日までとなっております。秋からは、きのこ採りのシーズンとなり、山に入る機会が増え、クマと遭遇する確率も高くなることから、看板設置や防災行政無線を活用した広報により、注意喚起をして参ります。

◆ねんりんピック秋田 2017の開催について

60歳以上を対象とするスポーツと文化の祭典、「第30回全国健康福祉祭あきた大会」ねんりんピック秋田2017」が、全国から1万人余りの参加者を迎え、